



現在	2,011人
令和4年1月1日現在	2,011世帯
総人口	4,817人
総世帯数	2,369人
男	2,448人
女	2,369人

# 新年の後援

## 大型ダンプ千台搬出



上條 温  
町会連合会  
相談役

謹んで新春のお慶び申し上げます。長年に渡って神林と今井地区の共通の課題であった(株)フロンティア・スクリップの新炉更新について、今井・神林公害対策連絡協議会において同意することとなりました。長年のご支援に感謝するとともにご理解をお願いいたします。

神林中央線の舗装工事は全線に渡って完了しました。鎖川の河床整備は、神林橋から北荒井橋までが完了し、引き続き梶海渡橋下流まで年度内に実施予定です。特に水代橋上流については河床低下を図るため大型ダンプ約千台の土砂を搬出しました。

## 60年に一度の壬寅



渡辺 賢夫  
町会連合会長

コロナ禍にあつて皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

新年あけましておめでとございます。コロナ感染が2年間に渡りトンネルから抜け出せず、ワクチン接種で光が見えたが新たな変異オミクロン株が脅威になっていきます。この間、地域の事業、スポーツや文化活動で自粛・中止が続き、住民の皆さんの心の中に人との交わりが感染につながるかと強い想いが根付いていいるかと気がかりであります。昨年は地域課題のフロンティア焼却施設の炉更新が協議会で容認する方針で企業による地域貢献を含め地元皆さんにご理解を得る方向としました。神戸線復便も地域の活性化に

## 充実とした生活を



小松 誠一  
公民館  
運営委員長

向けた取組が図られました。本年は60年に一度の壬寅で安定性や落ち着きを持ちながらもはつきりと決断できる年、感染症に冷静さを失わず行動できる年に踏み出したいと考えます。皆さんが健康で明るい年になるよう祈念します。

新しい年を皆様、晴れ晴れしいお気持ちで迎える事が出来たでしょうか、新型コロナウイルス感染に振り回され、疎ましくして仕方ありませんでした。公民館活動を振り返ると停滞きみと成り、地区に活力を生み出す手伝いが出来ず、スポーツフェスティバルやふれあい文化祭は「やろう」「出来ない」が二転三転し地域の皆様への呼びかけが小さい声になってしままい残念でした。今年度はコロナとうまく付き合ひ充実した生活といえる社会に一步でも進めるよう公民館活動への更なるご理解・ご協力を以前に増して頂きたくお願い致します。皆様のご多幸とご健勝をお祈り致します。

## 今年の成人者

- ◆川西町会  
上條春翔さん、塩原里奈さん、筒井幸輝さん、外園凌雅さん、南優香さん
- ◆川東町会  
犬飼悠真さん、岩田翔海樹さん、大久保駿さん、細井椋平さん、三島菜緒さん
- ◆寺家町会  
上條有輝さん、佐伯隆成さん、高山綺乃さん、平林桃佳さん、藤牧聖伸さん、松本侑哉さん、丸山駿さん、宮崎風華さん、吉崎綾さん
- ◆南荒井町会  
グエンアイントウーさん、小池真緒さん、斎藤龍宇さん、塩原恵さん、多賀結人さん、永井豪さん、西窪愛奈さん、福井怜さん、矢嶋優樹さん
- ◆町神町会  
小澤美鈴さん、清水萌子さん、高木誉さん、羽多野愛梨さん、横田一成さん
- ◆下神町会  
久保田一樹さん、倉科杏衣さん、山本健人さん
- ◆梶海渡町会  
熊谷駿人さん、倉科響さん、小池あすみさん、小林さくらさん、小松優希さん、田中陽輔さん、横山圭さん

### 新成人コメント

小澤美鈴さん(町神)  
「成人としての自覚を持ち、落ち着いた行動を心掛けたと思います」

## 鎖川

かつて「奇跡の松本山雅」と讃えられた松本山雅が最下位での降格が決まった。J2リーグに昇格したのは2012年。この年反町監督が就任し、2015年には悲願のJ1昇格を果たしてくれたが1年で降格。2018年にクラブ初タイトルとなるJ2優勝と自動昇格を決めた。この頃が山雅サポーターや松本市民にとって一番盛り上がりつつある時である。2019年、勝ち点を積みできない試合が続き降格が決まると、8年間に渡って指揮を執った反町監督は辞任する。「これから山雅はどうなるのだろうか」と思っ

たサポーターは私だけではないだろう。2020年、布監督が就任したが成績は低迷。柴田監督に代え、巻き返しを図り成績は上向くが13位で終了。2021年、大幅な選手入れ替えを行うが成績はやはり低迷し、またもや途中で監督を解任し名波監督が就任するも立て直しが効かず終わった。フロントの責任でもあるが、私達サポーターはゴール裏で飛び跳ね、選手のチャントを大声で歌い、昇格を喜ぶ日が来るのを待っている。

老後の安心

成年後見制度を中心とした講演

12月7日恒例の神林地区福祉を考える集いを元公証人中川清秀さんに「老後の安心」と題し、成年後見制度を中心としての講演を29人の参加を得て2時間聞きました。

亡くなった夫、妻が認知症になつた時、一番身近に起きるお金の引き下ろしに当たつての心配がこれからどんどん身近に増加します。そんな折、今回の成年後見制度について、詳しい中川さんのお話です。

「成年後見制度」は平成12年4月1日、介護保険制度と一緒に発足した法律です。

この制度は、判断能力が不十分な成年人者(認知症状態の高齢者、知的障がい者、精神障がい者等)に代わつて家屋敷等不動産の管理、通帳や実印の管理、預金の払い出し、施設や病院などの支払い、出張所印鑑証明等の請求、ヘルパーとの契約、入退院の手続き等を本人に代わつて代理人としての後見人(法定代理人)にお願いする制度です。

法定後見制度：すでに判断能力を失っている場合(法律に基づき後見制度三制度)

【後見】日常生活上で、買い物や福祉奉仕の契約等法律行為の意味が分からない人への支援。  
【保佐】普段の買い物は出来るが、大事なことになること一人判断は困難な人への支援。

【補助】日常生活は本人自身で出来るが騙され易く、難しい契約の事はわからないなど、判断に不安がある人への支援。

どこに該当するかは家庭裁判所が判断します。

後見内容は、①財産や資産、その他管理、申請手続き、各種支払い代理業務など

②本人が後見人に無断でした契約の取り消し。

権利擁護後見人(法定後見人)

①親族後見人(配偶者、子供、甥姪など)、②専門職後見人(弁護士、司法書士、社会福祉士、社会福祉団体、同職員、社会福祉協議会等法人)③市民後見人。市民後見人とは専門職後見人に代わる後見人のことで、誠実な市民であれば一定の研修を積めば誰でも後見人として地域で活躍できる様に平成23年になりました。

これら成年後見制度は、今後ますます活用度が高くなると

同時に、後見人として誰を選ぶかは裁判所の判断など問題点もあり、勉強の余地が多くあると思いますと結ばれました。



八ヶ岳高原 縄文の里と 美術館を巡る

12月1日(水)初冬の史跡巡りに、総勢23名が参加しました。

八ヶ岳南麓の豊富な湧水に恵まれた環境で縄文時代に集落を形成し、井戸尻・藤内・曾利など「井戸尻遺跡群」を作り出しました。遺跡の保存を目的に「井戸尻史跡公園」を整備し、公園内に考古館が作られました。今回特別に小松館長の縄文人の生活などの説明を受けることが出来ました。館内には、発掘した土器や石器の出土品二千点余りが時代を追って展

示され、中には国の重要文化財に指定された土器もあります。「火の有る生活だったから暖は取れたが、冬はたいへんだったろうね。」

「石臼でどんぐり等の木の実をすり潰して食べていたのか。この時代にすごいね。」

などの感想が聞かれました。富士見町歴史民俗資料館も併設され、明治・大正期の農具や生活用品を展示、当時の民家を移築再現されていました。

考古館の周りを散策するころには天気も良くなり富士山も眺められました。

午後の原村にある八ヶ岳美術館では、館内に歴史民俗資料館があり、縄文時代の阿久遺跡などからの出土品や考古学資料が展示されていました。



原村出身の芸術家・清水多嘉示による彫刻と絵画の寄贈を受け、1980年に開館した当時では珍しい村立の美術館です。清水多嘉示の特別展を企画開催されており、多くの美術品を見ることが出来ました。バスの車中では、丸山公民館長がガイドを務めてくれて楽しい史跡巡りとなりました。



キーワードはなに?

本紙神林版の記事内にキーワードの文字が散りばめられています。見つけて言葉にしてください。わかった方は神林公民館に備え付けの用紙に必要事項を記入してご応募ください。アンケートにお答えいただいた正解者の中から抽選で5名に500円分の図書カードをプレゼント!締切は2月28日(月)、当選発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募お待ちしております!

【前回の答え】 【今回のキーワード】  
ひのようじん ○○○○○○○○○○